

2025年第2回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○八代特別

八代（やつしろ）は、熊本県中南部の市。江戸時代には熊本藩家老松井氏の城下町として栄え、八代城や松浜軒などの旧跡が多く残る。また、低地では農業が盛んで、イグサの生産量は日本一を誇る。

なお、同市にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ八代がある。

○柳川特別

柳川（やながわ）は、福岡県南西部にある市。有明海に臨み、筑後川と矢部川に挟まれた三角州に位置する。クリーク網が発達し、水郷として有名。また、有明海岸には雄大な干拓地が広がっている。詩人・北原白秋の生地として知られ、詩碑「帰去来」がある。

○博多ステークス

博多（はかた）は、福岡県福岡市の区。また、福岡市街地の別称。古来、博多は太宰府の外港であり、大陸文化輸入の玄関口として栄えた。毎年5月に開催される「博多どんたく」や7月に開催される「博多祇園山笠」などの祭りが有名。

なお、同区にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるエクセル博多がある。

<第2日>

○青島特別

青島（あおしま）は、宮崎市南部、日南海岸の北端に位置する島。周囲は浸食されて海食台を成し、「鬼の洗濯板」と呼ばれる景観を呈している。また、ビロウなどの亜熱帯性植物群落は、国の特別天然記念物に指定されている。

○西部日刊スポーツ杯

日刊スポーツは、日刊スポーツ新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、福岡市に所在する日刊スポーツ新聞西日本西部本社より寄贈賞を受けて実施されている。

○佐世保ステークス

佐世保（させぼ）は、長崎県北部、北松浦半島南岸の市。オランダの街並みを再現したテーマパーク「ハウステンボス」が有名で、年間を通して多くの観光客で賑わっている。

なお、ハウステンボスにはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ佐世保が隣接している。

〈第3日〉

○ロイヤルバンコクスポーツクラブ賞

ロイヤルバンコクスポーツクラブは、1901年に創設されたタイの競馬統括団体。同団体は競馬のほかに多数のスポーツの統括を担っている。競馬については、1903年からロイヤルバンコクスポーツクラブ競馬場で実施されている。

○ターフオーソリティーオブインディア賞

ターフオーソリティーオブインディアはインドの6つのターフクラブ（ロイヤル・カルカタ・ターフクラブ、ロイヤル・ウエスタン・インディア・ターフクラブ、マドラス・レースクラブ、バンガロール・ターフクラブ、ハイデラバード・レースクラブ、マイソール・レースクラブ）から構成されている団体。各クラブはそれぞれの地域における競馬を統括している。日本との交流は、1968年に種牡馬としてハクチカラ号を寄贈したことに始まり、第1回『ジャパンカップ』には同国からオウンオピニオン号が出走している。

○マレーシアカップ

マレーシアは、東南アジア、マレー半島南部とボルネオ島北部を占める連邦制の国。同国では、19世紀後半にシンガポールと一体で競馬が行われるようになった。その後、1864年にペナン、1886年にペラ、1896年にセランゴールの3つのターフクラブが設立された。

○フィリピントロフィー

フィリピンは、東南アジア、フィリピン諸島を占める共和国。同国における競馬は、1867年にマニラジョッキークラブが結成されたことに始まる。

現在は、大統領府所管組織であるフィリピンレーシングコミッションの監督の下、2013年に設立されたメトロマニラターフクラブが競馬を開催している。

〈第4日〉

○ウインズ小郡開設20周年記念 小郡特別

本競走は、ウインズ小郡開設20周年を記念して実施される。

小郡（おごおり）は、山口県山口市にある地名。江戸時代には山陽道の宿場町として栄え、1975年に山陽新幹線、1983年に中国自動車道が開通し、山口県の玄関口として重要な役割を果たしている。

なお、同地にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ小郡がある。

○九州スポーツ杯

九州スポーツは、東京スポーツ新聞社より九州地区を中心に発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○サマースプリントシリーズテレビ西日本賞北九州記念（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第2戦。

本競走は、1966年に創設された重賞競走。当初は芝2000mのハンデキャップ戦であったが、1969年に1800mとなり、1972年に別定重量戦へ変更された。2006年から1200mのハンデキャップ戦となり、現在に至る。

テレビ西日本は、福岡市に本社を置く放送局。1958年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○ソレイユジャンプステークス

ソレイユ（Soleil）は、「太陽」を意味するフランス語。語源は古代ローマ神話の太陽神「Sol」。

○英彦山特別

英彦山（ひこさん）は、福岡県と大分県の県境に位置する奇石、奇峰に富む火山群の主峰。北岳・中岳・南岳の三峰からなり、中岳に英彦山神宮がある。山中には、国の重要文化財に指定されている奉幣殿（ほうへいでん）や銅鳥居（かねのとりい）、国の天然記念物に指定されている鬼杉がある。

○八女特別

八女（やめ）は、福岡県南西部にある市。八女地区の恵まれた風土と技術で生産される八女茶は、高級茶として全国で愛されている。また仏壇・ちょうちん・和紙・竹製品などの農村副業的工業が盛ん。

○釜山ステークス

釜山（ぷさん）は、大韓民国南東部に位置する広域市。国内第二の都市として政治・経済・文化面で重要な役割を担っている。日本との関係も深く、小倉競馬場と釜山競馬場は2009年から姉妹競馬場として提携している。

<第6日>

○雲仙特別

雲仙（うんぜん）は、長崎県島原半島西部の市。2005年に周辺7町が対等合併し、雲仙市となった。また、同半島の中央部にある火山群の総称であり、特別名勝に指定されている。雲仙天草国立公園は、火山景観を主体とした雲仙地域と、大小120余りの島々の海洋景観を主体とした天草地域からなる。

○西部スポニチ賞

スポニチは、スポーツニッポン新聞社より発行されているスポーツ紙スポーツニッポンの略称。九州地方では、福岡市に所在するスポーツニッポン西部総局が同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○阿蘇ステークス

阿蘇（あそ）は、熊本県北東部、阿蘇地域の中央部に位置する市。同地域にある阿蘇山は、世界最大級の複式活火山。中央には高岳をはじめとする阿蘇五岳がそびえ、世界でも有数の規模のカルデラを形成している。温泉やキャンプ場などが多数存在し、観光地として人気がある。

<第7日>

○ひまわり賞

ひまわり（向日葵）は、北アメリカ原産のキク科の一年草。夏には、周囲が鮮黄色、中央が褐色の大きな頭状花を横向きに咲かせる。1982年に北九州市の市花に指定されている。花言葉は「あこがれ」「熱愛」。

○熊本城特別

熊本城（くまもとじょう）は、熊本市にある城。別名銀杏城。1467～1487年頃に、肥後の豪族菊池氏の一族出田秀信が坪井川右岸の丘に城を築き千葉城と称したのに始まる。現在の城は、1601～1607年に加藤清正が築いたもので、この時に名も熊本城と改められた。

なお、同市にはJRAの映像提供施設であるVIESTA熊本がある。

○テレQ杯

テレQは、北九州市と福岡市に本社を置くTVQ九州放送の愛称。1991年開局で、TXN（テレビ東京）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○不知火特別

不知火（しらぬい）は、夜間の海上に多くの光が点在し、ゆらめいて見える現象。干潟の冷えた水面と大気との間にできる温度差によって、漁火が無数の影像をつくる異常屈折現象とする説が有力。八代海や有明海は、不知火の名所として知られる。

○宮崎ステークス

宮崎（みやざき）は、九州南東部の県。また、同県南東部の市。マンゴーや日向夏など、南国の温暖な気候を利用した農産物が有名。

なお、同市にはJRAの競走馬育成施設である宮崎育成牧場があり、育成された競走馬は主にJRAブリーズアップセールで売却され、JRA育成馬としてデビューする。また、同施設内にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ宮崎がある。

○サマー2000シリーズ農林水産省賞典小倉記念（GⅢ）

全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第3戦。

本競走は、1965年に創設された重賞競走。当初は芝2000mのハンデキャップ戦であったが、1995年に別定重量戦へ変更された。2000年以降は再びハンデキャップ戦として、実施されている。

○耶馬溪特別

耶馬溪（やばけい）は、大分県を流れる山国川、駅館川などが台地を刻んでできた渓谷。日本三大奇勝や日本新三景として有名。岩石美・森林美・溪流美が揃い、それらの調和がすばらしい名勝の地。菊池寛の小説「恩讐の彼方に」の舞台として有名な青の洞門がある。